

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に係る輸送広報業務委託（東京圏）

落札者決定基準

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会が発注する、「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に係る輸送広報業務委託（東京圏）」に関する落札者決定基準については、次に掲げる方法による。

1 審査機関

- (1) 本委託業務の審査については、委託事業者選定委員会（以下、「選定委員会」という。）において実施する。
- (2) 選定委員会は、仕様書に記載している要求要件を満たしているか判断するとともに、「4 評価基準」に基づき付与する点数の判断について審査する。

2 落札者決定基準

(1) 落札者の決定方法

- ① 3 に定める評価方法により算出された技術点と価格点の合計点が最も高い者を落札者とする。
- ② 最高得点が同点で二者以上あった場合、審査委員の協議により受託者を決定する。なお、審査委員の協議でも決定できない場合、審査委員の多数決によって受託者を決定する。

(2) 技術点、価格点の配分

点数については 100 点満点とし、得点配分については、技術点 70 点、価格点 30 点とする。なお、技術点については 70 点満点とし、内訳は次のとおり。

評価項目	技術点 (70 点)
全体	15
企画内容	45
実施体制・フィジビリティ（実現可能性）	10
合 計	70

3 委託業務の技術点及び入札価格の評価方法

委託業務の推進・遂行力、機能及び技術並びに入札価格の評価については、仕様書及び評価基準に基づき次のとおり行うこととする。

- (1) 評価基準については、次の 4 に示す。
- (2) 評価基準に記載している評価項目（1）及び（2）を必須の評価項目とし、評価基準に記載している項目を評価する。
- (3) 評価基準に記載している必須の評価項目に関連する機能・運用について、具体的かつ評価できる提案を行っている場合については、評価基準に基づき得点を付与する。

- (4) 各提案会社の技術点については、各選定委員会委員の採点の合計をもってその技術点に係る得点とする。
- (5) 入札価格については、その入札価格に応じ、点数化するものとする。点数化の方法については、次に示す方法による。ただし、予定価格の70%以下の金額を入札した場合は、価格点は30点とする。
- 「価格点＝{(予定価格－入札価格)／予定価格×0.5}×30点」
- (6) 価格点はいずれも小数第2位を四捨五入し、小数点第1位までを有効とする。

4 評価基準

技術提案書の評価基準は、以下のとおりとする。記載する事項が無い場合は当該箇所について記載する必要はないが、得点は0点となる。

(1) 全体（合計15点）

東京圏における一般市民、道路利用者に影響のある大会期間中の交通施策(TSM・会場周辺交通規制・式典輸送交通規制)についてご理解頂き、事前に交通行動を変えていただける企画であり、本業務の目的を的確に捉え、実現可能なプログラムかつ、十分な実施体制となっているか。

(2) 企画内容（合計45点）

- ①東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会（以下、「東京2020大会」という。）における安全で円滑な大会輸送を実現するため、道路利用者や地域住民、企業に対し、大会運営上必要となるTSMや交通規制について広く周知する提案であること。
- ②ポスター・チラシに加え、地域の実情や特性に合わせたマスメディア（ラジオ広告、テレビ広告など）、デジタル広告、交通広告等を活用した企画
- ③広告換算や広告測定など、客観的な効果想定を示しているか。
- ④個別具体的な広報ツールについては、以下のとおりとする。

ア) チラシ、ポスター制作に係る提案

デザインや内容及び配布先、掲出場所について、内容がシンプルでわかりやすく、より多くの人に対し、効果的な配布先及び掲出場所の提案となっているか。

イ) 競技特性や地域の住民特性・交通事情を考慮したメディア、デジタル広告等を活用した提案

- ・ターゲットである東京圏の一般市民、道路利用者の行動特性・視聴率の高い広報媒体を分析した企画であること。
- ・組織委員会、東京都、政府、高速道路会社等が行う広報を考慮するとともに、これらの広報との重複や齟齬が生じないような広報計画を提案すること。
- ・競技特性や地域の住民特性・交通実情を考慮し、複数の媒体を活用し、最大の効果を引き出す提案となっているか。
- ・デザインや実施回数等において、東京圏の住民特性・交通事情を考慮し、より多くのターゲットに効果的に伝わる提案となっていること。

ウ) 自由提案

予定価格の範囲内で、相乗効果を生み、より効果的・波及的に全体コンセプトが伝

わるような提案になっているか。

(3) 実施体制・フィジビリティ（実現可能性）（合計10点）

- ①専門的知識・経験・実績のある責任者、担当者を配置し、本件事業を実施するにあたって、必要な体制が十分に確保されているか。
- ②実現可能な提案となっているか。実施にあたって、不確定要素や県・関係機関等の協力要件がある場合は、具体的かつ明確にその内容を示したうえで、調整能力を有した責任者・担当者による実施計画を示すこと。

※加点項目の採点基準について

- ・評価はAからEまでの5段階とする。
- ・評価タイプ（15点、10点、5点）により段階ごとに加点を行う。
- ・評価は、以下のとおりとする。

評 価		評価タイプ		
段階	内 容	15 点	10 点	5 点
A	非常に優れている提案	15	10	5
B	ややすぐれている提案	11	8	3
C	標準的な提案	7	5	2
D	やや劣っている提案	3	2	1
E	非常に劣っている提案または未記載	0	0	0